

<イベントのご案内>

ライブ配信「在宅ケア多職種連携フォーラム2026」

その人らしい暮らしを支える地域づくり ～多様な選択ができる社会で私たちができること～

2026年12月19日(土) WEB開催

公益財団法人 日本訪問看護財団(東京都渋谷区 理事長:田村やよひ)は、2026年12月19日(土)、
「在宅ケア多職種連携フォーラム2026」をWebでライブ配信します。

今回のテーマは「その人らしい暮らしを支える地域づくり」です。独居や家族から十分な支援を得られない人が、
住み慣れた地域で暮らし続けるために、在宅ケアに携わる人々は何ができるのかを考えます。

【開催の背景】

我が国では、人口減少や少子高齢化、単身世帯の増加、生産年齢人口の減少など、社会構造が大きく変化しています。住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる社会を実現するには、従来の枠組みにとらわれない柔軟な支援体制と、多職種による連携が不可欠です。2026年度の骨太の方針においても、医療・介護・障害福祉等におけるDX／AXやチーム医療等による生産性向上、多職種連携の推進が示されています。こうした背景を踏まえ、「在宅ケア多職種連携フォーラム2026」を開催します。

【フォーラムのねらい】

独居高齢者が増加する中、地域で安心して暮らし続けるためには、在宅ケア関係者が医療・介護のみならず、地域の多様な支援資源を把握し、活用することが重要です。介護保険法に基づく多様な地域支援事業の拡充をはじめ、高齢者終身等サポート事業、住まいと見守り等を一体的に提供する居住支援など、新たな仕組みが生まれています。

さらに、他産業との連携により新たなサービスを創出する「産福共創モデル創出事業」など、地域を支えるインフラも変化しています。こうした動向を在宅ケア関係者で共有し、地域資源を活かしたこれからの多職種連携の在り方を展望することをねらいとしています。

【フォーラムの内容：厚労・国交・経産省の担当官が登壇】

上記の趣旨から、厚生労働行政を通じた地域づくりに大きく貢献された元厚生労働事務次官である大島 一博 氏による特別講演をはじめとして、暮らしを支える多様な施策の紹介を厚生労働省・国土交通省・経済産業省の担当官からいただき、「地域づくりにどう貢献できるか～多職種の対話～」をテーマとした多職種の実践者によるシンポジウムを通じて、地域について多職種で共に考える機会を提供する構成としています。

実施概要

日 時:令和8年12月19日(土) 13:00～16:45

開催方法:Webライブ配信 ※後日アーカイブ配信あり

参加費:報道関係者は無料 (一般参加料:5,000円)

申し込み:報道関係者専用申し込みフォームにて事前申し込み

※複数名で参加される場合は、参加者お一人ずつお申込みください

<申込フォームURL:https://www.jvnf.or.jp/event/press/>

お申込期間:9月28日～12月16日

資料:PDFダウンロード形式

在宅ケア 多職種連携 フォーラム 2026

その人らしい暮らしを支える地域づくり
～多様な選択ができる社会で私たちができること～

12.19 (土)
13:00
～
16:45

参加費

5,000円

お申込み

9月28日～12月16日



誰もが、自分らしく暮らせる地域へ。

医療・介護の枠を超えて、地域に関わる一人ひとりの力が未来の安心をつくれます。
多職種の知恵と地域の力を持ち寄り、2040 年を見据えた、これからの在宅ケアと
暮らしのあり方を共に考えます。

医療・介護関係者だけでなく一般の皆さまも、ぜひご参加ください。



その人らしい暮らしを支える地域づくり ～多様な選択ができる社会で私たちができること～

開催日 2026 **12.19** [±] 13:00～16:45 | 参加証発行・後日アーカイブ配信あり

プログラム	
13:00～13:10	開会の挨拶 田村 やよひ（公益財団法人 日本訪問看護財団 理事長）
13:10～14:00	特別講演 「高齢化の坂」と地域づくり 大島 一博 氏（株式会社 国際社会経済研究所 理事 / 元厚生労働事務次官）
14:00～14:30	暮らしを支える施策① 厚生労働省の施策：介護保険法に基づく地域づくり関係施策について 佐藤 清和 氏（厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 地域づくり推進室 室長補佐）
14:30～15:00	暮らしを支える施策② 国土交通省の施策：住宅セーフティネット法に基づく安心できる住環境の整備 清水 藤太 氏（国土交通省 住宅局 安心居住推進課 課長補佐）
15:00～15:30	暮らしを支える施策③ 経済産業省の施策：民間企業等と自治体・福祉関係者との連携による産福共創モデルの推進 高橋 司 氏（経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課）
15:30～15:40	休憩、オンライン企業展示
15:40～16:40	シンポジウム 地域づくりにどう貢献できるか～多職種の対話～ 平山 司樹 氏（医療法人葛西医院 訪問看護ステーションかつさい 管理者 / 在宅看護専門看護師） 黒澤 加代子 氏（社会福祉法人うらら みずべの苑 訪問介護事業所管理者 / 介護福祉士） 中林 弘明 氏（一般社団法人 日本介護支援専門員協会 常任理事 / 介護支援専門員） 平原 優美（司会）（公益財団法人 日本訪問看護財団 常務理事 / 在宅看護専門看護師）
16:40～16:45	閉会の挨拶 平原 優美



公式キャラクター ピンポンちゃん

ご参加いただける場合は、下記フォームより
12月16日(水)までに
ご登録くださいますよう、お願いいたします。

<https://www.jvnf.or.jp/event/press/>



日本訪問看護財団について

【法人の活動方針】

日本訪問看護財団は、社会保障制度の一つである「訪問看護」を推進する団体です。

訪問看護をはじめとする在宅ケアに携わる人材の育成や事業運営の支援、調査研究等を行うとともに、在宅ケアの普及・推進に取り組んでいます。これらの活動を通じて、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的としています。

訪問看護等の在宅ケアの質的・量的な充実を図り、病気や障がいがあっても、住み慣れた地域や自宅で安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指しています。

また、近年は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等の各種メディアからの取材依頼にも対応し、訪問看護に関する情報提供や発信を積極的に行っています。こうした広報活動を通じて、訪問看護への理解と認知を広げ、在宅ケアを必要とする方々が適切な情報にアクセスできる環境づくりにも取り組んでいます。

【主な事業】

教育、運営支援、研究・開発・政策提言、研究助成、その他を5つの柱として事業を展開しています。

【ソーシャルメディア】

日本訪問看護財団公式Webサイト：<https://www.jvnf.or.jp/>

X：https://X.com/jvnf_official

Instagram：https://www.instagram.com/houmonkango_zaidan

YouTube：[https://www.youtube.com/@houmonkango_zaidan PR](https://www.youtube.com/@houmonkango_zaidan_PR)

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

事業部 広報担当：山辺 岸 村田 高橋 ☎03-5778-7001(代表) MAIL：media@jvnf.or.jp